

# 反転授業・実践

オンライン学習と対面授業を組み合わせた反転授業。昨年の入門編に続き、今年は実践編を行います。いざ実践と思っても細かい部分でわからないことが多く、本格的な実践になかなか繋がられない方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。そこで本研修では事前学習の配信方法や動画視聴、それらと対面授業との関連性等、実践する上でつまづきやすい問題とその解決方法について考えます。そして日本語教育における反転授業の具体的な実践例を参考に、参加者が自身の実践に合わせた問題の解決の糸口を見つけ、反転授業を再デザインしていただくことを目指します。

日時： 2015年10月31日(土)13時～17時

会場： 早稲田大学 早稲田キャンパス22号館 [アクセス・地図](#)

講師： 藤本かおる氏(NPO 法人日本語教育研究所, 他)

コーディネーター： 倉本文子・保坂敏子・高橋薫(教師研修委員)

対象： 日本語教育での反転授業の実践を検討中、または実践中の方、  
お悩みのある方。

定員： 40名(先着順)

内容： 予定のため変更することがあります。

13:00-13:40 講師による実践紹介

13:40-15:00 動画と対面授業をつなぐ仕組みについて考えよう

15:00-17:00 [グループワーク] ※本研修で動画作成は行いません。

自分の授業をどのように反転授業にするか、

動画作成→動画公開→対面授業の流れで考えよう

受講料： 一般 3,000 円, 日本語教育学会会員 2,000 円, 学生 1,500 円

事前課題： 講義ビデオ(約 10 分×2 本)を事前に見て課題について考えてくること。  
(受講者には 10 月 16 日以降に Youtube の URL をお伝えします)

参考文献：

・『反転授業』ジョナサン・バーグマン他著, オデッセイコミュニケーションズ(2014)

・『反転授業-生徒の主体的参加への入口』ジョナサン・バーグマン他著,  
オデッセイコミュニケーションズ(2015)

・『アクティブ・ラーニング入門(アクティブラーニングが授業と生徒を変える)』  
小林昭文著, 産業能率大学出版部(2015)

～講師からのメッセージ～ 藤本かおる氏(NPO 法人日本語教育研究所, 他)

日本語教師になってからずっと、日本語学校、大学、日本語教育関連団体で授業を受け持ちながら、eラーニングの開発や運営に携わってきました。また、オンラインでの遠隔授業についても実践研究を行っています。こういうと理工系の素地があると思われるのですが、根っからの文系語学教師。

コンピュータとインターネットの可能性にワクワクし、それ

を授業に取り入れ、学習者の学びに役立てたい！そんな気持ちで反転授業にも取り組んでいます。パソコンに苦手意識があっても大丈夫。「反転授業に何か可能性がありそう…。」そう思えるならきっと、必要な技術はマスターできると思います！



10月20日  
締切

## ◆申込方法◆

参加申込書を学会ホームページ

<http://www.nkg.or.jp/menu-kenshu.htm>

からダウンロードして、メ

ール添付または FAX でお送りくだ

さい。メール応募の場合、題名は「反

転授業・実践申込」としてください。

申込書が到着次第、折り返しメール

で受講料の振込先等をご連絡しま

す。締切は 10 月 20 日(火)ですが、

定員になり次第、締切日前でも募集

を終了します。

## ◆注意事項◆

申込書を送っても学会からの返信

メールが到着しない場合は書類未

着の可能性がございますので、必ず

ご自身の責任においてご確認ください。

事務局対応は平日の 9～18

時です。週末や夜間メールへの対応

は翌日以降となります。なお、本募

集に関して集めた個人情報は本研

修の実施以外の目的には使用いた

しません。また、応募書類は返却い

たしません。

## ◆申込および問合せ先◆

公益社団法人 日本語教育学会

教師研修委員会事務局

〒101-0065 東京都千代田区

西神田 2-4-1 東方学会新館 2F

TEL : 03-3262-4291

FAX : 03-5216-7552

E-mail : kyoshikenshu (あっとまー

く) nkg.or.jp

【日本語教育学会教師研修委員会宛】 メール kyoshikenshu@nkg.or.jp FAX 03-5216-755

「反転授業・実践」(2015年10月31日)

参加申込書

氏名	(漢字) (ローマ字)
所属	<input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 日本語学校 <input type="checkbox"/> フリーランス <input type="checkbox"/> その他(具体的に: ) 所属先名:
会員種別	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 日本語教育学会会員 [No. ] <input type="checkbox"/> 大学院生
住所	〒
電話	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 職場 <input type="checkbox"/> 携帯
FAX	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 職場 <input type="checkbox"/> なし
E-mail 携帯アドレス不可	※連絡の基本はEメールとなりますので、間違いがないかご確認ください。
日本語教育経験年数	年
<p>1. 現在、反転授業を行っていますか(はい/いいえ)</p> <p>2. 「はい」の場合、授業内容はどのようなものですか。</p> <p>3. ご自身で使える学内のLMS等がありますか(はい/いいえ/わからない/LMSがわからない)</p> <p>4. 今回の研修で何を得たいですか。簡単にお書きください。</p>	
<p>※文字数等は問いませんが応募用紙全体がA4, 1枚に収まるようお願いいたします。</p> <p>この研修コースを何で知りましたか。該当するものに☑をつけてください。</p> <p><input type="checkbox"/> (1)学会からのメール <input type="checkbox"/> (2)その他からのメール( ) <input type="checkbox"/> (3)学会ホームページ</p> <p><input type="checkbox"/> (4)学会からのチラシ <input type="checkbox"/> (5)学会誌『日本語教育』 <input type="checkbox"/> (6)友人・知人</p> <p><input type="checkbox"/> (7)大学・日本語学校等機関( ) <input type="checkbox"/> (8)その他( )</p> <p>当日研修の様子を記録・広報等の使用目的で写真撮影をいたします。 該当するものに☑をつけてください。 →研修当日の撮影を <input type="checkbox"/>承諾する <input type="checkbox"/>承諾しない</p>	